

きらり

富士市 ^{ひと}女と男の^{ひと}情報誌

Vol.33 2018/2



平成29年11月12日から25日まで、「女性に対する暴力をなくす運動期間」の2週間、富士川サービスエリア大観覧車Fuji Sky Viewを、暴力根絶のシンボルカラーの紫色にライトアップしました。パープルライトアップには、女性に対する暴力の根絶を広く呼びかけるとともに、被害者に対して、「ひとりで悩まず、まずは相談してください。」というメッセージが込められています。

もくじ

- P2～3 女性が活躍しているワケを教えてください♪課長の会社訪問
- P4 副議長 小沢映子さん インタビュー★
- P5 男女共同参画の視点からのキャリア教育授業 in 須津中学校
男女共同参画人権講演会 ～LGBTへの理解に向けて～
- P6 富士市男女共同参画センターの紹介

Only One ～自分を大切に～



石川タクシー富士(株)



大正12年に開業した石川自動車。平成29年の今、女性ドライバー雇用率が全国平均2.5%の中、20%の石川タクシー富士(株)に変貌を遂げ進化し続けています。女性が活躍しているヒケツを伺うため、多文化・男女共同参画課課長が訪問しました。

3人の紹介

- 佐野社長 (左) 石川タクシー富士(株) 代表取締役社長 佐野充弘さん
- 井出さん (中央) 石川タクシー富士(株) 女性ドライバー 井出あい子さん
ドライバー歴 17年
夫と息子2人の4人家族
- 芦川課長 (右) 富士市役所市民部多文化・男女共同参画課課長 芦川恒男

芦川課長

女性の採用について、何か工夫している点がありますか。

佐野社長

ドライバーの勤務は、忙しい時間帯が大体決まっていますので、子育てや介護などで学校や病院などに行く時間をとりやすくする、日勤だけのシフトにする、日曜日は休みにするというように、ライフスタイルに応じて柔軟な働き方ができるようにしています。

井出さん

私も、子どものために無我夢中で働いてきました。運転が好きだったので、タクシーのドライバーになる前は宅配業をやっていた、乳幼児の子どもを助手席に乗せて、働いていました。その後、タクシーのドライバーに転向し、そのときはお金が必要だったので、夜中まで働いていました。今は日勤だけになっています。

子育てが終わる

と介護になって…。介護でもいろいろ日中にかかる時間が必要になりますので、柔軟な働き方ができることはとても大切でした。

芦川課長

なぜ女性のドライバーが増えたと思いますか。

佐野社長

特に女性だけを募集したことはありません。柔軟な働き方ができるのが魅力の一つでしょうか。口コミもあるのではないかと思います。

井出さん

女性のドライバーさんを見て、女性でも働けるんだな、ということも安心感といいますか、大きいと思います。



芦川課長

女性のドライバーに対するお客様の反応はいかがでしょう。

井出さん

妊婦さんから、女性がいいと希望されたことがあります。同性として分かり合えることが多く、何となく安心なのだと思います。

高齢の方からも「女性のドライバーさんでよかった」との声をいただいたことがあります。乗り降りや病院の玄関までなど、手を添えて一緒に行ったこともあります。

最近では、夜、小中学生の塾の送迎を依頼されることもありますよ。

ワケを教えてください♪



佐野社長

これまでそう
いったことを意識
して直接聞いたこ
とはありませんで
したが、確かに女性
のドライバーの方
が安心してといっ
た気持ちは理解で
きる気がします。そ
ういう面は確かに
ありますね(笑)。

芦川課長

佐野社長に伺います。女性ドライバーが増えて困ったことはありますか。

佐野社長

特にはないです。困ったことはないですね。女性だからと特別扱いするわけではなく、男女問わずその人にあった勤務形態などを取るようにしているだけです。

芦川課長

井出さんはいかがですか。女性だからと困ったことはありますか。

井出さん

ありませんね。いろいろなお客様がいらっしゃいますが、接客業であれば皆同じです。対応の仕方ですべてこなしていますよ(笑)。

芦川課長

働いてよかったな、と思う瞬間はどんなときでしょう。

井出さん

給料日です(笑)。お客様が快適そうだったとき、お客様に「ありがとう」「あなたでよかった」などと言ってもらえるときですね。

芦川課長

最後に、お二人のこれからの夢をお聞かせください。

佐野社長

観光で外国人が増えるなど、今、タクシーに求められる要素も大きく変わっています。また、妊婦さんや高齢の方や障害のある方への対応など、思いやりが求められる業務も増えていきます。

井出さんは、系列社内の接客のコンクールで賞を受賞したこともある接客と運転のプロです。男女問わず、よりよいドライバーが増えることで、タクシー業のイメージを変えていけたら、と思っています。

井出さん

タクシーのドライバーは究極の接客業の一つだと思っています。とてもやりがいがあり、子どもも大きくなって就職してお金もかからなくなりました(笑)が、私はずっとドライバーの仕事が続けたいと思っています。



インタビューを終えて

◆佐野社長は、優しく朗らかに、「女性だからと特別扱いをしているわけではなく、その人が働けるときに働きやすいようにとただ考えている」とおっしゃっていました。

◆井出さんは、背筋がピンと伸びた笑顔が素敵な方で、タクシードライバーの仕事に誇りを持っていらっしゃいました。

お二人ともこれからも頑張ってください!!

副議長 小沢映子さん インタビュー★

平成29年富士市議会6月定例会にて、新しい議長、副議長が決定しました。

議長には望月昇さん、副議長には小沢映子さんが選ばれました。

富士市議会において、副議長に女性が就任したことは初めて。富士市議会に新たな歴史が刻まれました。副議長・小沢映子さんにお話を伺いました。



副議長には、どうやってなるのですか？

まず、会派の中で話し合い、任期数や日頃の活動を鑑みて副議長の立候補者を決めます。その後、他の会派とも話し合っ、提出期限までに立候補の届出をします。

副議長の仕事を教えてください。

市は、市長と議会の二元代表制なので、議会がばらばらでは、何の役割も果たせません。一つひとつの問題に対して議員の考えをまとめる必要があります。議長、副議長は取りまとめ役として、また議会内の不適切な行動も律する役目を担っています。

また、議員の仕事自体がバラエティに富んでいて、議員にならなかつたらわからなかったことがたくさんあります。仕事が健康の秘訣ですね（笑）。



副議長になって気付いた事がありますか。

毎日登庁しています。土日を含め、課題や行事などがたくさんあり、相談に応じて判断し、連絡や調整を行い、多くの行事に出席しています。

ただ、副議長室に入って気付いたことの一つに、湯茶などの身の周りのことを職員の女性が行うのが慣例化していたことでした。他市でも目にしますが、これは、女性だから気付いたことかもしれません。

これからの抱負を聞かせてください。

これまでの活動の中で、特に富士市議会基本条例の制定が大きな成果の一つでした。決算審査、議会報告会、議会モニター等々、議員のやることも増えましたが、もっとこれを生かして、政策討論会をやりたいな～と思っています。

富士市議会女性初の副議長ということで、就任して何か感じることはありますか？

女性先輩議員の皆さんの努力があって、今の私があると思っています。これまでの積み重ねがあって、周囲も変わり、個性もありますが、私が女性だから…ということはありません。

今までも様々なことを勉強してきましたが、自分のミッションとして福祉や教育、医療の分野に特に関心を持って議員の任務にあたってきました。

でも、これからは、市の全体に目を通し、全体を見てサポートする必要性を強く感じていると同時に、身の引き締まる思いです。

周囲の皆さんの反応はいかがでしょう。

知人からはお祝いの言葉をいただきましたが、議員の皆さんも含め、皆さん、いつもと変わりません。特別なことはありませんでした。

一般の市民の皆さんの関心も、高くないように思いました。

女性が副議長になった！というような特別なことではなく、性別に関係なく一人の議員として就任した、ということだと思います。

最後にメッセージをお願いします。

私には全介助の娘がいます。娘が私の原動力であり、「政治は弱いもののためにある」「お互いを思いやる社会」という揺ぎない思いを支えてくれています。

生活困窮、女性、出産、子育て、高齢者、障害者等々、様々な生き難さに寄り添った制度ができてきました。「辛い」「助けて」と声をあげて、議員や市に頼っててください。「弱い者をつくらぬ社会」それが私の目標です。

明るく優しい笑顔で話してくれた小沢さん。全てをポジティブに考える、そんなところが印象的でした★

男女共同参画の視点からの キャリア教育授業

「男性の職業、女性の職業」という性別による職業に対するイメージを取り払って、将来の夢や可能性を広げてほしいという願いから、富士市では小中学校で「男女共同参画の視点からのキャリア教育授業」を実施しています。9月28日(木)に須津中学校で行われた授業の様子をご紹介します。



【保育士の山梨貴弘さん】

昔から子どもが大好きで、中学生の時に職業体験をしたことがきっかけで保育士を目指しました。なりたい職業を決める前に、自分が本当に好きなことを考えてほしいです。また、興味あることを色々な手段で調べ、今やるべきことは一生懸命取り組み、自分の可能性を広げてほしいです。



【ピアニストの松村明さん、フルーティストの松村真美さん】

第2部では、お二人の素晴らしい演奏を交えた授業を実施しました。間近でみるプロの手つきに生徒たちは感動し、生徒と一緒にいったリズム遊びでは、会場が一体となり最高に盛り上がりました。

明さんは、好きなことに夢中になる努力をしてほしい、「夢中」はストレスを感じずにすごいパワーを引き出す、真美さんは、つらい時は上り坂だと思って頑張してほしい、その先には必ず結果や達成感があると述べました。

【警察官の吉田奈美子さん】

自分の夢に向かって一生懸命勉強し、試験に合格し初めて制服を着た時は夢のようでした。勉強だけでなく、新聞を読むことや友達を大切にすることは人生を学ぶことにつながります。仕事に費やす時間は長いので、本当に自分の好きな仕事、生きがいを感じる仕事を探してほしいです。



生徒の感想

- 夢は男だからとか女だからとかという理由ではなく、自分の好きなこと、楽しいと思う仕事をする、見つけることが大切だということが分かりました。
- 夢へのアドバイスをたくさんもらって、これから頑張ろう！という気持ちになれました。

LGBT(性的少数者)への理解に向けて

男女共同参画人権講演会

「性別で見る多様性と人権 ～誰もがいきいきと輝く未来へ～」

- 平成29年8月21日(月) 13:30～15:00
- フィランセ西館4階大ホール ●参加者110名

全国各地で、小学生から大人まで幅広く、性の多様性に関する講演活動を行っている、ダイバーノン代表の「飯田亮瑠さん」による講演会を開催し、小中学校の教員をはじめ、多くの方に参加いただきました。

飯田さんは、「人間の性は、男性・女性・異性愛のみのようにシンプルなものではなく複雑で、また性の要素はそれぞれグラデーションのように異なっている。性の多様性を尊重してくれたり、悩みを真剣に聞いてくれる味方がいることは、とても幸せなことだと感じた。」と自身の体験を踏まえて話さ

れました。

参加者からは、「知ることの大切さに気づけた」「偏見を持たず、心の性別を大切にしていきたい」などの感想をいただきました。

性の多様性について、今後、何をどう考え、学びや行動に繋げるための材料をいただきました。



富士市男女共同参画センターの紹介



〒416-8558
富士市本市場432-1 フィランセ西館3階
(TEL/FAX) 0545-64-9017
(E-mail) si-danjo@div.city.fuji.shizuoka.jp
(開館時間) 8:30~21:00
(休館日) 毎月第3日曜日、祝休日、年末年始

◆情報コーナー

育児、夫婦関係、健康、LGBTなど、幅広い分野の図書やビデオを貸し出しています。お子さまが喜ぶ絵本もたくさん並んでいます！
どうぞ本を手にとってみてください♪

婦人公論
きょうの健康
オレンジページ

【雑誌は毎月更新中!】



富士市男女共同参画センターでは、性別に関わらず個性や能力を発揮できる社会の実現を目指し、講座の開催、図書の貸し出し、お悩み相談などを行っています。

どなたでもお気軽にお立ち寄りください★

◆富士発・女と男のフォーラム

男女共同参画センター利用団体で構成する「きらり交流会議」が、講座や講演会を開催しています。子育て支援、親子料理教室、介護、アート、演奏会、ウォーキング、ごみ問題など、テーマはさまざま。広報ふじにて日程をお知らせしています。

興味のあるものにぜひ一度お気軽にご参加ください。

◆ほっとスペース

毎月第2火曜日と第4木曜日に開催している「ほっとスペース」では手遊び、読み聞かせ、紙芝居、折り紙などが楽しめます♪

子どもだけでなく、ママやパパも一緒に楽しめる盛りだくさんの内容で、子育てのヒントも得られますよ!

～不安や悩み、抱えていませんか～

◆女性のための相談室

女性相談員があなたの悩みを聞き、解決に向けて共に考え、女性の人権に配慮し、必要に応じ専門機関をご紹介します。

相談専用 ☎0545-64-8997 (相談無料、秘密厳守)

■相談日 月～金曜 (祝休日、年末年始除く)

■相談時間 9:00～12:00、13:00～16:00

■相談方法 電話・面接(要予約)※緊急時は随時受付

●LGBT等(性的マイノリティ)の方への配慮について●

「多様性を認め合い、誰もが個性と能力を発揮できる富士市」の実現を目指し、LGBT等(性的マイノリティ)の方の情報の取り扱いにつきましては、特に下記のことについて、配慮をお願いいたします。

【特に配慮してほしいこと】

- ・当事者が皆、LGBT等について、理解を求めるよう活動しているとは限らないことを念頭に置く。
- ・知り得た情報(当事者であること)を、仕事上であっても無断で他人に公言、紹介しない。
- ・たとえ、本人のSNS等に記述があっても、他人に紹介する場合には、本人の意向を確認する。
- ・個人的に従来からの知人、友人であっても、無断で他に公言、紹介しない。



きらり

「きらり」は年1回発行します。世帯回覧の他、多文化・男女共同参画課、男女共同参画センター、各地区まちづくりセンター、図書館などで配布しています。会社やご友人にもぜひ回覧してください。

記事についてのお問い合わせ、ご意見・ご感想はこちらへ。

富士市市民部多文化・男女共同参画課 [富士市役所3階]

TEL 0545-55-2724 FAX 0545-55-2864

〒417-8601 富士市永田町1-100

E-mail si-danjo@div.city.fuji.shizuoka.jp